

さめがね村

No  
182

令和7年11月

# みんなの議会だよ

題字：鮫川小学校

6年 つねわ 悠希 常盤 悠希さん



9  
月  
定  
例  
会

令和6年度  
決算など可決 .. 2~3

先進地視察研修 ..... 4~5

一般質問に8議員登壇 .. 8~15

ふるさと鮫川への想い ..... 16



# 全ての会計決算を認定



## 9月定例会の あらまし

令和7年第5回議会定例会は、9月18日から25日までの8日間の会期で開催されました。

今定例会は、報告2件、条例の一部改正や補正予算のほか、令和6年度会計の決算認定、人事案件など25議案が提出されました。

また、一般質問では8名の議員が登壇し、様々な問題を取り上げ、村政について質しました。提出された議案は、全て原案どおり可決・答申しました。

## 会計別決算状況

会 計 別			歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計			39億7586万円	36億1853万円	3億5732万円
特 別 会 計	国保	事業勘定	4億6951万円	4億6918万円	33万円
		直診勘定	6219万円	5290万円	929万円
	村営バス事業		1978万円	1918万円	60万円
	介護保険		5億108万円	4億9766万円	342万円
	学校給食センター		9906万円	9580万円	326万円
	後期高齢者医療		4053万円	4009万円	44万円

### 【簡易水道事業会計】

※令和6年4月より地方公営企業法を適用した公営企業会計に移行。

区分	収入	支出	差引
収益的収支	6927万円	8501万円	△1574万円
資本的収支	3838万円	4344万円	△506万円

### 【集落排水事業会計】

※令和6年4月より地方公営企業法を適用した公営企業会計に移行。

区分	収入	支出	差引
収益的収支	2816万円	3435万円	△619万円
資本的収支	1992万円	1992万円	

## 主な事業（一般会計）

関係人口創出コーディネーター業務	295万円
保育園留学実施業務	880万円
草刈り応援隊運営委託業務	239万円
村づくり懇談会運営委託業務	347万円
歯科診療所運営事業補助金	300万円
鮫川村立学校等複合施設基本構想及び基本計画策定業務(令和5年度繰越分)	484万円
鮫川村立学校等複合施設基本構想及び基本計画策定業務	49万円
鮫川村立学校等複合施設基本設計業務	2161万円

## 決算審査意見

代表監査委員 森 洋  
監査委員 北條 利雄

- ◎ 決算に基づく健全化判断比率の状況は、実質公債費比5.9%で基準値を下回り健全財政を堅持した。
- ◎ 効率的な財政運営を図り、村民生活向上のため各種施策の推進を図っていただきたい。



### ● 改善事項（一部抜粋）

- ◎ 税及び使用料について、納入に向けた働きかけを引き続き努力願う。
- ◎ 業務の委託及び指定管理にあたっては、委託料及び指定管理料の根拠を明示し、実績報告により精算することが望ましいと考える。
- ◎ 事務事業の執行にあたっては、思い込み等を排除し、具体的背景の積み重ねにより計画を立て、実施いただきたい。

# 補正 予算 一般会計

## 生活基盤の整備や住民の 安全で安心なむらづくりを推進



### 会計別補正予算

会計別			補正前の予算額	補正後の予算額
一般会計			35億2189万円	37億7509万円
特別会計	国保	事業勘定	5億738万円	5億1268万円
		直診勘定	5215万円	5583万円
	介護保険		5億4048万円	5億5203万円
	学校給食センター		9957万円	1億472万円
	後期高齢者医療		4014万円	4067万円
公営企業会計	簡易水道事業(収益的収入)		7495万円	7801万円
	簡易水道事業(収益的支出)		9620万円	9926万円
	集落排水事業(収益的収入)		2994万円	3171万円
	集落排水事業(収益的支出)		3925万円	4101万円

### 主な事業(一般会計・歳出)

財政調整基金 8000万円

教育施設整備基金 6600万円

#### 積立金



給食ミールキット開発事業経費 100万円

集会施設改修事業補助金  
(青生野区集落センター屋根塗装工事)  
事業費の3分の1を補助 43万円

さめがわの美しいもの  
マルシェ運営経費 67万円

宿泊施設「結び」  
客室用空調機1台更新費用 33万円

鮫川小学校敷地内舗装  
維持補修工事 149万円





# 研修会 レポート

10/20

## 町村議会議員 研修会

県町村議会議長会主催の議員研修会が開催された。「地方議会・議員の役割と議会改革の必要性」「今後の政局・政治展望」をテーマに講演があり、議員として見識を深めるとともに、今後の議会改革の方向性を見いだすための意義のある研修であった。



10/28

## 徳島県 神山町

2016年、創生戦略「まちを将来世代につなぐプロジェクト(つなプロ)」を実現するため、「神山つなぐ公社」(一般社団法人)を設立。公社を中間支援組織として、役場・住民・企業・まちに関心を寄せる人などをつなぎ、企画・情報発信などを行いながら、課題解決と将来世代へ継承できる体制づくりを進めている町であった。



9/19

## 給食試食

給食献立「まごわやさしい献立」



ま…豆類  
ご…ごま  
わ…わかめなどの海藻類  
や…野菜  
さ…魚  
し…しいたけなどのきのこ  
い…いも類

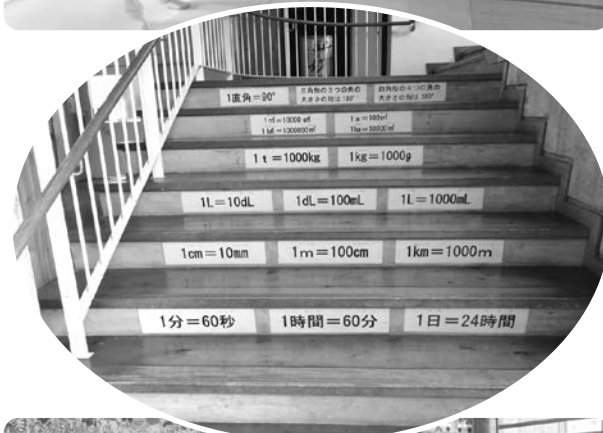
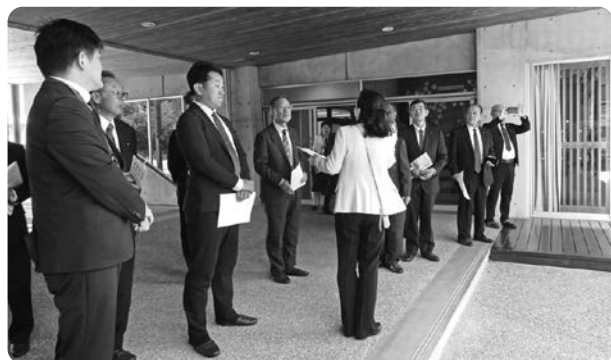


地場産物を活用した給食をいただきました。

10/28

## 徳島県 佐那河内村

児童・生徒数118名、9年間を通じた小中一貫教育の推進を重点目標とし、特色ある教育課程の編成と実施に取り組んでいる。特に小学1年生から中学3年生までの系統的な「英語教育」を推進し、一人ひとりの児童生徒の可能性を最大限にのばす教育を、計画的・継続的に実施している村であった。





# 提出議案を徹底調査

## 議案調査



事業内容の説明を受けた合同議案調査

### 村道舗装補修工事に 3100万円

令和7年度一般・特別会計、公営企業会計補正予算および令和6年度一般・特別会計、公営企業会計決算認定を総務文教・産業厚生両常任委員会で調査しました。

#### 総務文教 常任委員会

問	答
小学校敷地内舗装維持補修工事費150万円	小学校児童クラブ敷地付近の側溝からの水漏れが原因で、舗装の一部が陥没したための補修費用

**問** 給食ミールキット開発事業費40万円  
**答** 外部講師協力報償や活動協力報償費

**問** 防犯灯LED化修繕費用320万円  
**答** 当初15件だったが電球交換件数が72件と増加したための修繕費用

#### 産業厚生 常任委員会

問	答
村道舗装補修工事3100万円	石井草遠ヶ竜線の舗装補修工事費

**問** 地質調査業務490万円  
**答** ひだまり荘敷地内に陥没箇所があるため地質調査を行う費用

**問** 観光費・委託料72万円  
**答** さめがわ美しいものマルシェ宣伝運営業務費（ラジオ福島等）

特定建築物定期調査業務費（宿泊施設「結び」）

## 現地調査



補修工事が予定されている石井草遠ヶ竜線



内ヶ竜滝ノ下線地滑り工事の進捗状況確認



# 議員 8人が登壇ズバリ!! 村政を問う!

◀次のページは

一般質問

北條利雄議員・緑川

茂議員



P 8

ほうじょう とし お  
**北條 利雄** 議員

- ペーパーレス会議導入
- 文書決裁・管理システム導入



P12

くぼ き こういち  
**窪木 浩一** 議員

- 公立学校等複合施設整備事業



P 9

みどりかわ しげる  
**緑川 茂** 議員

- 農村公園の維持管理
- 村政の実績評価と今後の抱負



P13

あお と よし ゆき  
**青戸 義之** 議員

- 中山間地域等直接支払制度事業



P10

もり たか ゆき  
**森 隆之** 議員

- 鳥獣被害対策
- 中の沢集落センターのインフラ整備



P14

ほん ごう ひろ よし  
**本郷 弘義** 議員

- 里道(りどう)の管理



P11

もり た しげ お  
**森田 重男** 議員

- 朝日山登山道の環境整備



P15

えん どう たか ひと  
**遠藤 貴人** 議員

- 分担金徴収条例
- 旧289号線の環境整備



## 議事の進行

まえ た たけ ひさ  
**前田 武久** 議長

一般質問は、議員の日常生活を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。



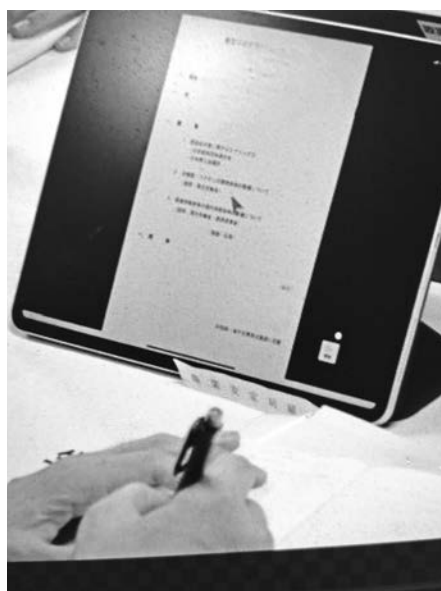


## 問 ペーパーレス化の導入は

## 答 効果的な行政運営の実現に取り組む

### 質問

会議には資料が付きもの。作成や更新に多大な時間と労力が割かれる。会議前の準備や終了後の資料の整理や保管が課題。会議のたびに大量に作成される資料の配付を止めることで、紙の使用量や印刷コスト、人件費を大幅に削減する効果がある。重要な資料の情報漏えいを防止できるなど、メリットが多いのがペーパーレス(紙媒体を使用せずに業務を電子データで進める)会議。情報通信技術を活用してコミュニケーションを円滑にサービス向上などに生かす、公開している利用可能なデータの取組



会議資料の電子化によるペーパーレス化が求められる

による情報の共有化とともに、できる限りのペーパーレス化は避けて通れない課題。携帯情報端末を使ったペーパーレス化の考えは。

### 答(村長)

庁内会議や打合せの場で日常的にペーパーレス会議の導入と運用することで、資料作成、配付作業の効率化や業務負担の軽減を図っている。紙の使用量削減による環境負荷の軽減や印刷、配付作業に伴う人件費の抑制といった行政改革効果も期待される。限られた資源を有効活用しつつ、持続可能な行政運営を進める上でペーパーレス化は

避けて通れない課題と認識。オンライン会議や庁内会議での資料共有も可能とする環境を構築。積極的にペーパーレス会議を実施し、業務効率化と環境負荷の軽減の両立を図り、効果的な行政運営の実現に取り組む。

### 再質問

庁内でのペーパーレス化が推進されている一方、定例的に実施されている議会や行政区長会、民生委員会や教育委員会など、行政に関わる会議の各分野で利活用できる段階に進むべき。

### 答(村長)

ペーパーレス化は自治体の重要な施策。災害時のデータ管理なども含め、デジタル化による管理は有効であり、今後検討する。

### 問 文書決裁と管理システムの導入は

### 答 多角的な検討を踏まえ判断する

### 質問

行政手続のオンライン化、問題解決や目標達成のための要求、行政がデジタル技術を活用し、住民の利便性と質の向上は喫緊の課題。予算編成から執行までには組織をまたぐ手続が必要。目標を達成する工程には、手続が多く発生し、手続の利便性や業務効率に課題が生じる。決裁の時間短縮や管理業務の効率化、目的の文書探索、紙文書の減などの課題がある。文書決裁・文書管理システムの導入は、統合することで一元管理が可能。原本管理や改ざん防止、セキュリティ、財務会計との連動など導入メリットがある。文書決裁・文書管理システムの導入は。

### 答(村長)

コスト削減のため、白河地方広域市町村圏整備組合管内の市町村が共同で調達した文書管理システムを導入。電子決裁機能はイーシヤルコスト及びランニングコ

ストの費用対効果の観点から、機能の導入を見送っている。次期文書管理システムの更新は2年後を予定。決裁時間の短縮による業務効率化や円滑な運用の観点、導入コスト、費用対効果など多角的な検討を踏まえ文書決裁・文書管理システムの導入を判断する。

### 再質問

費用対効果もあるが、簡素化したシステム改善、文書管理から決裁システムまで実現していくべき。2年後を予定しているが、実現可能なのか。

### 答(副村長)

財政的な視点や職員が実際にアナログでやった場合と、デジタルで文書決裁を行った場合のメリット、デメリットを他市町村や県の事例等をよく調査しながら、今後検討し研究を進める。





緑川

茂議員

問

農村公園の維持管理料の見直しは

答

現状に即した管理料に改定する

質問

村内に5か所ある農村公園は、それぞれ地域の特色を活かして造られており、地域住民の憩いの場として利用されている。施設の維持管理は村からの委託により各地区で草刈りなどの管理をしている。地区民間の連帯感が生まれる効果や地域活性化の面から有意義のある施設である。一方で今後も維持管理をしていく上で委託料が少ないという指摘もある。例えば真坂農村公園では年間

4回から5回草刈りや植木の剪定の管理をしており、委託料は2万円である。各農村公園の現状に応じた管理料に見直すべきであると思う。

答弁(村長)

農村公園は、地域住民に憩いの場を提供すると共に、地域コミュニティの育成を図ることを目的として整備された公園である。維持管理料については、公園敷地面積と管理内容、草刈りの回数やトイレ清

掃の有無などを基に定め、管理報償費として支出している。現在の維持管理料は平成28年度に改定以降、見直しを行っていないのが実情である。近年の物価高や人件費の上昇などを踏まえ、現状に即した維持管理料に改定する必要があり、今後見直しを行う。

再質問

真坂農村公園では、年末年始をイルミネーション設置により、地域内を明るく雰囲気にすると共に通行車両の方々にも楽しまれている。公園を有効活用し、地域の活性化を図ろうとする地区民の熱意や努力が報われるよう、行政側も目を向けるべきでは。

答弁(村長)

当公園はきれいに管理されており、イルミネーションは通る人を楽しませている。また、東京農大との連携は素晴らしい取り組みだと思っている。人と人との

つながりが少なくなっている中で、コミュニケーションを図る事は施設の有効活用であり、今後ともしっかりとサポートしていく。

問 現村政の実績評価と今後の抱負は

答 教育環境の整備等を進めていく

質問

2年前の8月、少子高齢化対策など様々な課題が山積する中で、宗田村政がスタートした。就任以来、厳しい財政の中、村をより良くしたいという強い信念と、掲げてきた公約実現のため、指導力を発揮してきたその姿勢は認めるところである。任期の間、間点を迎え、改めて宗田村政の2年間を振り返るとともに、今後の抱負は。

答弁(村長)

就任後、最初に職員に挨拶の大切さを指導

した。また、生活費がかさむ子育て世帯の経済的負担軽減のため、給食費の無償化、各教科検定料の全額支援を実施した。さらに、既存施設の景観見直しと環境整備は大切であり、さざり荘周辺に多くの方々を植栽した。また、食づくりにおいて村の大豆と大玉村の米のコラボによる「ふく福みそ」や充填豆腐など新たな商品を生産し、新規販売先との協定などを進めている。さらに、昨年始めた保育園留学では、今年度9件の予約があり、定住や2拠点居住に繋がることを期待している。農業施策として、次世代を担う経営感覚に優れた担い手を支援すると共に生産基盤の継承等を支援していく。今後も教育環境の整備、景観や食づくり、保育園留学などによる関係人口創出、高齢者への対応など、課題解決に向けて進めていく。

次のページは

一般質問 森

隆之議員・森田重男議員



問

緊急銃猟制度で首長の  
発砲許可が可能となるが

答

警察や専門家と協議して  
総合的に判断する

質問

昨今、ニュースなどで話題となっている鳥獣による農作物被害や熊の出没等、以下の3点について問う。

- ①被害の通報を受けたときからの流れは。
- ②熊が対象になつていないが、その対応は。
- ③駆除を依頼する猟友会との連携やハンターの育成は。

答弁(村長)

指摘のとおり、鳥獣による農作物が荒らされる被害が頻発しており、



鳥獣害駆除を担う猟友会メンバー

加えて、野生動物の生息域の変化に伴い、本村においても7月24日に熊の目撃情報も寄せられた。

- ①住民から被害の報告があつた場合、有害鳥獣捕獲依頼書を作成、対象鳥獣の種類、被害を受けた農作物等の種類や面積等を記載し、村鳥獣被害対策実施隊にFAXで報告。その後、実施隊による現地調査を経て、必要に応じて罠の設置や巻狩りなどの対応を実施する。
- ②熊への対応について

再質問

を後押しする取組を進めている。

緊急銃猟制度の導入で、熊やイノシシが人の生活圏に侵入し、生命に危険が及ぶと判断された場合に村長の判断で発砲許可が出来るようになった。かなり責任が重くなると思うが。

答弁(村長)

難しい判断だと思う。そういう場に遭遇したときには、職員や警察等、単独の判断ではなく専門家の意見を聞き総合的に判断したい。



農作物を荒らす「イノシシ」

問

中の沢集落センターの水源確保は

答

村の責任で水源確保を検討する

質問

中の沢集落センターは村の施設であり、現在、中の沢地区に貸し出している。当然、維持管理費用は地区で支出しているが、近年水源が細くなり大切な水の確保が難しい状況。飲料水はもちろんトイレ等に影響を及ぼす可能性もある。村で水源確保をして欲しいが。

答弁(村長)

中の沢集落センターの水源については、水量が減少傾向にあることは事実。地区の住民からも水不足の状況と聞いている。中の沢地域振興組合と協議を重ね、安定的な水量確保のため、村が責任をもって具体的な方策について検討する。





森田 重男 議員

問

朝日山の環境整備は

答

適切な維持管理・環境整備に取り組む

質問

本村に誇れる朝日山は、山頂から唯一、太平洋が一望でき、また富士山が見える山である。最近、登山ブームとなり子供から高齢者まで多数の登山者が訪れている。しかし、残念ながら、登山道は草木が生い茂り、歩くのも困難な状況になり、特に西側

はひどい状況である。私も何度か行ってみて、途中、小川が流れていて板橋が架かっているところが老朽化しているところもある。交流人口、関係人口を図る上でも大事なことであり、本村の観光施設、鹿角平観光牧場、さざり荘などに寄り道をして大きな利益をもたらしてくれると思う。

答弁(村長)

朝日山は山頂から太平洋を望むことができ、冬期には富士山を見ることができると、本村を代表する貴重な観光資源である。眺望のみならず、登山道にはブナ、ナラといった落葉広葉樹が群生し、野鳥のさえずりやサンショウウオなどの貴重な動物を観察することができる。また、小学校では毎年4年生が環境学習の一環として登山を行い、自然に親しむ場ともなっている。登山道の環境整備は、平成26年まで青生野区の皆様により、西口側の草刈りなどが行われていた。その後、村がシルバー人材センターに委託し、草刈りのほか湧水箇所の整備や草木の除去等など登山者の安全確保を担っていた。

再質問

傷んでいる板橋の修繕予算は。

答弁(村長)

傷んでいる場合は対応していく。

再質問

朝日山の登山道のパンフレットが無いようなので、パンフレットを作成してはどうか。頂上付近はツツジが現在、伸び放題なのでいずれば太平洋も見えなくなる。富士山も見えなくなる心配もあるが。

答弁(村長)

パンフレットについては早急に対応し、樹木の伐採は、担当課と相談しながら進める。



環境整備が求められる朝日山

引き続き、シルバー人材センターへの協力を得ながら本村の豊かな自然景観を守り、安全で快適に登山を楽しめるように登山道の適切な維持管理と環境整備に取り組んでいく。また、交流人口や関係人口の拡大、さらには観光振興へとつなげていくことを期待しながら努めていく。

問

## 義務教育学校の 建設予算の見直しは

答

## 新候補地を再選定・検討して進める

窪木 浩一 議員



質問

事業予算が莫大で学校を最優先に考えるならば併設施設の必要・有用性を見直し、予算や計画を精査すべきではないか。また完済までの財政シミュレーションを提示願う。

答弁(教育長)

予算は村基金、国交付金、地方債を活用し進める。総事業費は約32億円、うち17億円は村債で賄う予定だったが、予定地が土砂災害



再び開催されることが望まれる住民説明会

警戒区域に指定される見込みで新候補地を再選定中。

答弁(村長)

令和6年度の村償還額は約2億5千万円で、経常収支比率は83.7%。義務教育学校の為に17億円を借入れた場合、ピーク時の償還額は約3億5千万円に達し、経常収支比率は94.8%になる見込み、95%を超えない財政運営は許容範囲内とされる。

再質問

注目度が高い事業の計画が短期間で二転三転する事に不安を感じ、村民に不信を与えた責任は。

答弁(村長)

最適な場所だったが、災害指定区域に施設が含まれ、変更を余儀なくされた。変更に伴う経費等は検討し進める。

再質問

候補地変更で地域支援事業の3億円の調整はどうなるか。

答弁(教育長)

協定書は県知事、県教委の教育長、村長の三者で合意され、土地を学校として使用しない場合、協定内容を見直し、三者間で相談していく。

再質問

鮫川校の解体が遅れ、開校予定が遅れていたが、候補地変更となれば更に遅れる可能性があるが、改めて開校予定は。

答弁(教育長)

開校予定は変更が必要だが令和11年度中に校舎を完成・開校予定。

再質問

併設施設の建設は削られ、学校のみに絞られたが、棚倉町も小学校の統合・新設計画があり、村の義務教育学校はそれに勝る優位性はあるのか。

答弁(村長)

学力向上だけでなく、自然環境に触れる学校づくりが重要。理想の学校づくりに取り組んでいく。

再質問

小学校を大規模改修して活用する案もある



白紙となった修明高校鮫川校跡地での計画

が、シミュレーション・比較はしたのか。

答弁(村長)

小学校は、がけ条例に抵触する可能性があり、改修工事は難しく、新校舎を設ける必要がある。

再質問

候補地変更で計画は実質白紙だが、再度住民説明会の予定はあるか。村民の是非を確認する為にアンケート実施を提案したい。

答弁(村長)

住民意見は重要とは思いますが、村が選考した検討委員会や調査内容を検討する職員がおり、その中で相談し進める。





青戸 義之 議員

問

中山間地域の景観の維持は

答

有用な施策を検討・推進

質問

中山間地域等直接支払制度事業は、令和7年度から第6期対策が始まっている。過日、村に会計検査が入り、協定対象農用地の確認に

より、畦畔がない、傾斜のついている箇所は田と認めないなどの指摘があり、これにより、協定に参加しない農家が出てきている。また、今後増えると思われる。こ

うした状況から、荒れ地の農地が増え、村の景観が悪くなるばかりである。この事業への参加状況と今後の動向は、また、村独自の制度が必要と考えるが。

答弁(村長)



交付金により維持されている耕作放棄地

会計検査員の指摘では、畦畔が消失している農地への対応について、本年10月から11月頃に農林水産省に正式に指摘があり、交付金返還の措置等が講じられる見込みであり、その後、改めて畦畔の有無を調査し、市町村ごとの返還額が決定される。令和7年度から第6期の対策が始まったが、現時点での協定参加集落は58集落で、協定面積は493haとなり、令和6年と比較すると、協定数は10集落の減、協定面積は149haの減となる。協定数などが減少している要因としては、役員の成り手不足、5年間という管理期間の長さ、事務処理の負担などが挙げられる。畦畔の消失により対象が

ら外れる農用地もあり、農地の荒廃にもつながる事例が多く村としては、10月に実施する現地確認検査により、適正な管理状況を確認するとともに、畦畔については、農業者が所有する機械で直ちに復旧可能かどうかを確認する。農業者にとつて有用な制度であるため、継続した取組が行えるよう制度に沿った適正な対応を進めていく。さらに、畦畔の復旧が困難な場合には、畑地化促進事業への誘導も検討し、野菜や大豆等の作付により耕作放棄地の防止と農家の所得向上につながる有効な施策を考える。今後の後継者不足等により、農地の遊休化が懸念されるが、農地がもたらす国土を保全、水源涵養機能、そして村の景観の維持のため、農業委員会とも連携を図りながら有用な施策を検討・推進する。

再質問

田は、食料生産だけでなく治水、地下水の涵養、気候の調整、生物多様性の維持といった多面的な機能において大変重要とされている。中山間地域を荒廃から守っていくには、国に頼らず、自分たちの地域は自分たちで守るという気持ちが必要では。

答弁(村長)

有機農業の推進は、耕作放棄地対策にもつながる。差別化した農業づくり、米作り、野菜づくりなどで対応しながら新規就農者の採用など、余裕のある農業づくりに努めていきたい。



問

## 里道(りどう)の管理は

答

現状を調査・把握し、  
支援の在り方を検討していく

本郷  
弘義  
議員



質問

道路には国道、県道、市町村道があり、管理者は国・県・市町村の長となっている。その公道以外に法定外公共物として里道が存在している。この里道の維持管理は、現状として周辺の住民や利用者によって行われている。しかし、河川が横断する場所には、橋梁が必要となるが、周辺の住民や利用者だけでは橋梁を敷設することは

できない。車が通行するようになった現代において橋梁敷設や維持管理は、耐久性、強度、安全性、資金の問題が発生するからである。里道の利用者の中には、橋梁の問題で住宅等の新築や修繕、改修を断念し、その土地を離れざるを得ない場合もある。これは限界集落を招く要因にもなり、村の人口減少問題の対策に逆行することになると考



朽ち果てた橋と廃屋

える。橋がないと生活ができない、新居を考えたも、住まいの修繕を考えたも、また、不要になっても重機が入れず解体もできない。手っ取り早く全てを放棄して転居を考えてしまうのも無理のない話となってしまう。この里道に架かる橋梁の問題に取り組んでほしい。

答弁(村長)

里道は道路法の適用を受けない法定外公共物であり、多くの場合、地元住民によって維持管理が行われてきた。村では、住民に管理をお願いするだけでなく、原材料支給事業により、補修等に必要な資材を提供するなど、一定の支援を行っている。村では、里道に架かる橋梁の数や現状を十分に把握できていない。村が里道に橋梁を建設する場合、多額の費用を要することになるので、まずは原材料支給事業を活用しながら、地域の皆様の主体的な管理整備を願いたい。その上で、村とし



里道に架かる橋

ても現状を丁寧に調査・把握した上で必要に応じて支援の在り方について検討していく。

再質問

本村では移住定住対策として様々な支援対策を講じているのは承知している。しかしながら、近年の村の人口は、令和元年から令和七年の六年間に人口減562人、戸数減58戸、という結果が出ている。支援対策に、もう一工夫ほしい。村民が、転居することなく、将来も暮

答弁(村長)

現状を把握していなかった。橋がなくて困っているとすれば、検討したい。

らし続けたいと思える生活環境を整える必要がある。里道に架かる橋梁が地区民の障害とならないような支援をすべきと考える。里道の問題はその家、利用者、その地区だけのことでない。村の衰退に関わる大きな問題として捉えてほしい。





遠藤 貴人 議員

## 問 県道及び国道の問題対応は 誰が行うのか

## 答 村内を通る県道及び国道は 県が管理者

### 質問

被害を未然に阻止することを目的として、危険木を伐採し、所有する者に対象経費の100分の15の分担金を求めるため改正された、分担金徴収条例について問う。

### 答弁(村長)

①県道及び国道は県が管理者であるため、対応は県が行う。  
②土地の所有者に管理責任がある。  
③緊急性の可否を判断するのは村。

### 再質問

県が管理する道路に支障が生じた場合も条例は適用となるのか。

### 答弁(村長)

適用となる。

### 再質問

先ほど、県道及び国道は県が管理者であるため、対応は県が行うと答弁があった。そのうえで、村が対応しなければならぬ事象があるのか。

### 答弁(村長)

所有者の責任で処理する。そういう思いで村が対応しなければ。

### 再質問

個人のものは個人が対応するのでは。

### 答弁(村長)

個人が対応するべき。

### 再質問

本来は個人が対応するものだが、危険を及ぼす場合には村で対応するということであれば、それらの事象すべてに対応が可能なのか。

### 答弁(村長)

所有者が対応するのは当たり前。ただ、財政的に伐採したくてもできない方もいる。

### 再質問

個人の財政状況を、村が考慮する必要はないのでは。

### 答弁(村長)

全ての助成金は財政的な状況を鑑みながら進めている。

### 再質問

村で重機をリース等で調達しながら作業する考えはあるか。

### 答弁(村長)

機械導入による除草作業も検討する。

### 再質問

草刈り作業に取り組む地域に対し、消耗品などの支給が行える仕組みはできないか。

### 答弁(村長)

道路環境の維持を後押しするため、一定の基準を設けて支援の仕組みを検討する。

### 質問

国道289号線は、渡瀬バイパスが開通したことで旧道が国道指定から外され、村道に移管された。今後、旧289号線を含めた村道の除草作業について、どのような見通しをされているか。

### 答弁(村長)

昨年度より25路線の村道について建設業者

助成金の交付には公共性と公平性が求められる



◀次のページは

ふるさとへの想い シリーズ(56)です

# ふるさと鮫川への想い シリーズ⑤6

## はじめの一步は 鮫川村から

私が生まれた1979年、ウォークマンが発売された年です。その後、中

### ◆ プロフィール

- ・昭和54年生まれ
- ・西野小学校 卒業
- ・鮫川中学校 卒業
- ・学校法人石川高等学校 卒業
- ・文教大学女子短期大学部 卒業
- ・現在、神奈川県川崎市でフリーランスのマーケティング販促・PR事業を行う「Elpuente.N」として活動。



とく しげ のり こ  
**徳重 詞子**さん(旧姓:西野)  
神奈川県在住(赤坂西野字名下出身)

学に入学した時にラジカセを買ってもらった記憶と、80年代以降、渋谷カジュアルやギャルファッションの流行りに合わせ、大学ではワープロの授業があるなど、IT化の前進が印象深く脳裏に浮かびます。

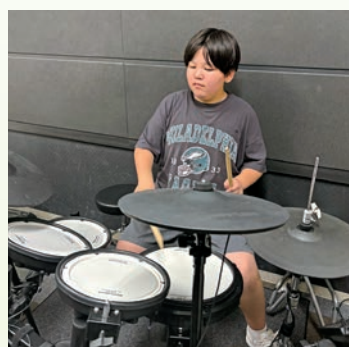
鮫川村で育った18年を思い出すと、今とは全く別の世界線に居るかの様な大自然で、とても贅沢な時間だったと思います。西野小の私の学年はクラス十六人。クラブや大会には、皆が掛け持ちしながら、いくつもの種目に選手として出場するという光景は

日常でした。友人と「あの時、色々なスポーツや経験ができたからこそ、何でもやれる気がするし『挑戦心』が育ったよね」と、思い出話をするのがよくあります。

一方で、現在は真逆の環境にある神奈川県で暮らし、マーケティング販促や企画・PR業務をしている私は、キッズ施設などのイベント企画や、ブランディングをする機会も多く学びの日々ですが、鮫川で培った『挑戦心』が根底にあるからこそ頑張っています。また、仕事と子育ての両立の中で、小学校の運動会などに行くと「競う」ことよりも「チームワーク」が重視された中で、どのように「個性」を活かすのか。そんな時代の中で息子は生きているのだなど、ふと感じることがあります。今息子は、プログラミングと音楽のドラムに関心を持ち、毎日苦戦しながらも練習を重ねています。何か自分の「武器」を見つけるきっかけづくりとして、関心ごと

には挑戦して欲しいなと思っています。

鮫川の少人数の学校、大自然界だからこそ、挑戦のしやすさがあると思うので、『はじめの一步を鮫川村で』たくさん体験し、子ども達の将来へ繋がることを願っています。



▶一人息子



▶朝のニュース番組で商品紹介



▶同級生とのゴルフ

### 編集後記

早いもので編集後記の任も一回りし、議員として残された任期もわずかになってきました。議員活動や一般質問を本誌は省略掲載していますが、各議員の熱量や想いが伝わるよう、ぜひ議場にも足を運んで頂けると励みになります。

(広報編集委員)

